

グローバル・プロファイリング報告書：那須塩原市

綿貫雅一*

【概要】

那須塩原市（なすしおばらし）は、首都圏から150キロメートルほど、宇都宮市から約50kmの距離にあり、栃木県の北部に位置し、広大な那須野が原の北西一体を占めている。面積は592.74km²、令和3年の人口は115,511人である。那須塩原の魅力は、なんといっても温泉である。1,200年以上の歴史を持ち、皇族や文豪から愛され泉質豊かな「塩原温泉郷」、古くから湯治場として知られる下野の薬湯「板室温泉」を有している。また日本近代化の足跡をたどる那須野が原は「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～」として平成30年に日本遺産に認定されている。これらの観光資源を有効に活用して、国内のみならずインバウンドの観光客を対象とした、滞在型・体験型の観光を取入れた「ONSEN・ガストロノミーツーリズム」の推進を目指している。

1. 基本情報

那須塩原市は、栃木県北部に位置する市で、首都圏及び関東地方の最北部に位置し、那須塩原都市圏の中心都市である。同市は「平成の

大合併」により、平成17年（2005年）、黒磯市・西那須野町・塩原町の合併により誕生し、面積は、592.74km²¹である。市の面積の半分は、那須火山帯に属した湯量豊富な塩原温泉郷や板室温泉、三斗小屋温泉をはじめ、箒川沿いの四季折々に彩を見せる塩原溪谷や沼ッ原湿原を代表とした観光の名所となる自然豊かな山岳部が占めている。残りの半分は、北側を那珂川、南側を箒川に挟まれた緩やかな傾斜の扇状地で、JR東北新幹線と宇都宮線的那須塩原、黒磯、西那須野の各駅周辺と国道4号と国道400号沿いに市街地が形成されている。

図1 那須塩原市の位置



出典：那須塩原市へのアクセス)

<http://www.city.nasushiobara.lg.jp/02/000909.html>

* 一般社団法人 日本グローバル・イニシアティブ協会理事長

1 国土交通省国土地理院『令和3年 全国都道府県市区町村別面積調（4月1日時点）』国土交通省国土地理院、2021年、22頁。

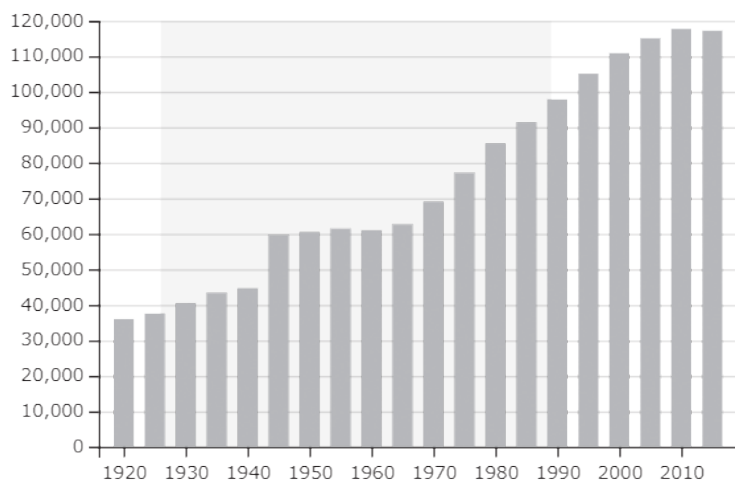
那須塩原市は、標高 200 メートル以上に位置し、高原性の冷涼な気候である。降水量は夏季に多く、冬に少なく、年間で 1,500 ～ 2,000 ミリメートルで、山間部では冬季には積雪があり、4 月下旬でも残雪が見らる。

市の人口は、昭和 50 年（1975 年）の 77,121 人から、緩やかに増加し平成 22 年

（2010 年）にピークの 117,812 人を記録している。その後、減少に転じ、令和 3 年の人口は、115,511 人²である。また、世帯数は 48,884 世帯である。

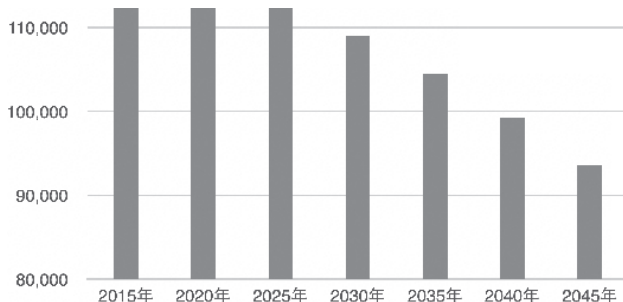
国立社会保障・人口問題研究所によると、那須塩原市の将来人口は緩やかに減少し、2045 年には 93,603 人と推計されている。

図 2 那須塩原市（に相当する地域）の人口の推移



出典：ウィキペディア「那須塩原市」

図 3 那須塩原市の人口の推計



出典：国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成30（2018）年推計）

2 那須塩原市概況 (<http://www.city.nasushiobara.lg.jp/02/000912.html>)。

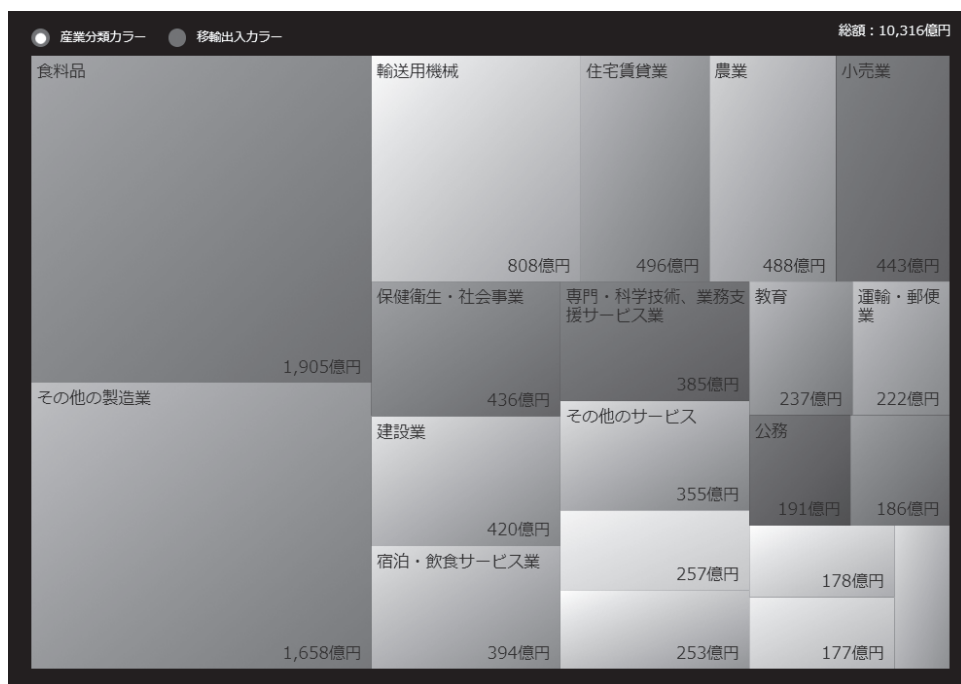
これに対して、那須塩原市は独自に将来人口推計³を行っている。この推計に依れば、那須塩原市の人口は、2025年に114,663人、2040年には105,503人と推計している。この推計は2つの仮定を前提としている。第一に、出生に関する仮定として、国の長期ビジョンと同様に、合計特殊出生率を2020年に1.6程度、2030年に1.8程度、2040年には人口置換水準である2.07を達成するものと仮定している。第二に、人口移動に関する仮定として、移住定住施策の推進により、若年層の転出を抑制するとともに転入促進を図り、純移動率を2060年までに、転入2割増加、転出2割抑制の達成を想定している。

2. 経済・ビジネス

(1) 地域経済の概況

RESAS生産分析によれば、那須塩原市の2015年の生産額（総額）は10,316億円、その内訳は、第1次産業（農業）497億円（4.8%）、第2次産業5,953億円（57.7%）、第3次産業3,865億円（37.5%）である。第2次産業では食料品1,905億円、その他製造業1,658億円、輸送用機器808億円、第3次産業では住宅賃貸業（496億円）、小売業（443億円）、保健衛生・社会事業（436億円）、宿泊・飲食サービス業（394億円）の比重が大きい⁴。

図4 那須塩原市の生産額内訳（2015年）



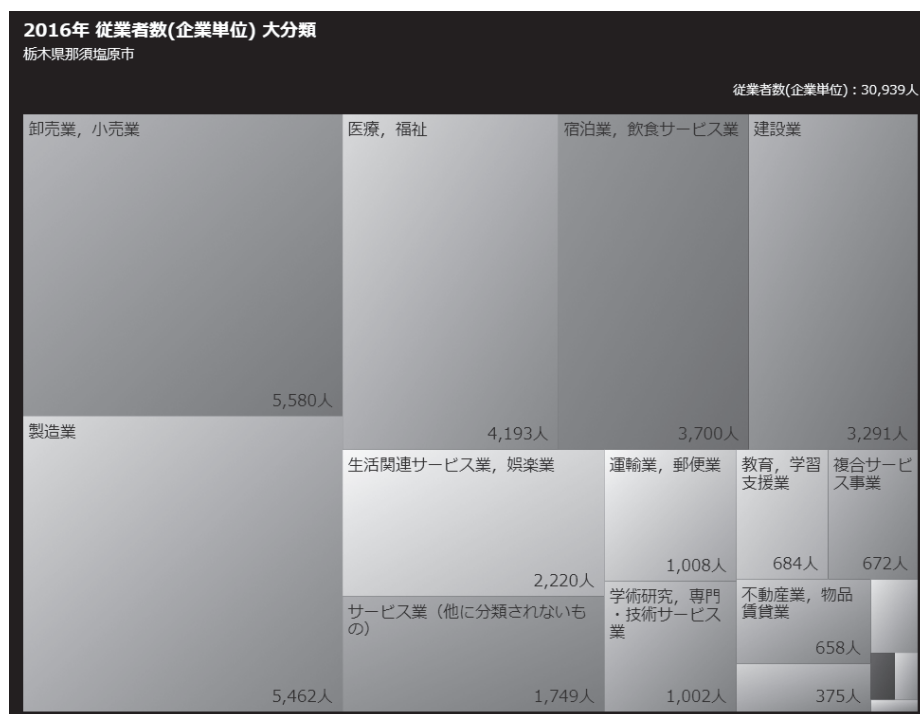
出典：RESAS地域経済循環マップ「生産分析 産業分類」

3 第2次那須塩原市総合計画（平成29年度）。

4 RESAS地域経済循環マップ「生産分析 産業分類」。

就業人口で見ると、卸売・小売業（5,580 人）と製造業（5,462 人）が最大の雇用産業であり、両事業合わせて、全従業者数（30,939 人）の 35% を占める。

図 5 那須塩原市の従業者数内訳（2015 年）



出典：RESAS産業構造マップ「全産業産業の構造」

(2) 農業

那須塩原市の農業は、次の二つの特徴を持っている。

▪ 冷涼な気候を生かした水稻、園芸作物

那須塩原市は冷涼な気候を生かした水稻、野菜、果樹の栽培が盛んである。那須連山を背景に複合扇状地が広がり、明治時代に建設された那須疏水が田畑を潤し、昼夜の寒暖差によって作物が美味しく育つ環境にある。

▪ 本州一の酪農王国

冷涼な気候は酪農・畜産にも生かされてい

る。那須山麓には、生乳生産額本州 1 位（農林水産省平成 30 年市町村別農業産出額〔推計〕より）の酪農地帯が形成され、観光農場や特産加工などの 6 次化も進んでいる。

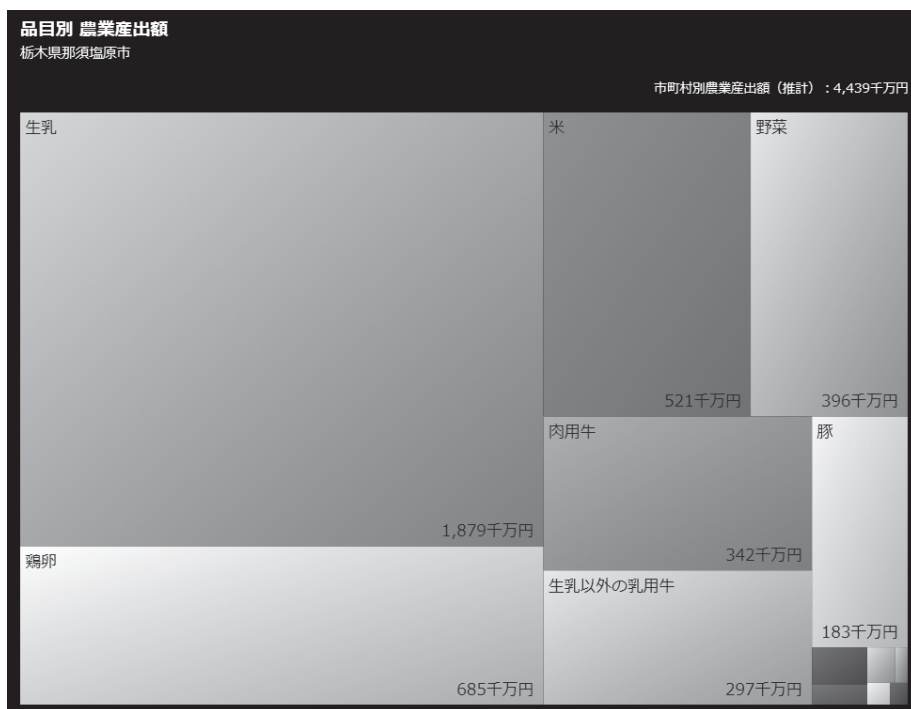
那須塩原市の農業関係のデータは次の通りである。2015 年の耕地面積は 9,540ha で、農業就業人口 3,631 人、販売農家数 1,959 戸である。この販売農家数の経営形態別の内訳は、主業農家 644 戸、準主業農家 346 戸、副業的農家 962 戸となっている⁵。

5 農林水産省「わがマチ・わがムラ 市町村の姿 グラフと統計で見る農林水産業 基本データ 栃木県那須塩原市」。

経営耕地総面積は、8,648ha（2015 年）で、経営体当たりの耕地面積は 3.68ha であり、全国平均の 2.54ha を 45% 程、超える規模である。また、経営耕地面積規模別では、1ha 以上 10ha 未満の農家が全体の 69.52%（全国：1ha 以上 10ha 未満 42.34%）を占めている⁶。

那須塩原市の農業算出額は 443.9 億円で、地域生産額の 5% 程度を占める。しかし同市は、酪農・畜産が盛んで、生乳の生産額は 187.9 億円に及び、本州第 1 位（全国第 4 位）を誇っている。牛乳に続く農産物の内訳は、鶏卵（68.5 億円）、米（52.1 億円）、野菜（39.6 億円）、

図 6 那須塩原市の品目別農業産出額（2019 年）



出典：RESAS産業構造マップ「農業の構造」

肉用牛（34.2 億円）、生乳以外の乳用牛（29.7 億円）、豚（18.3 億円）である⁷。

2019 年の品目別農業産出額は図 6 の通りである。

(3) 観光業

那須塩原の魅力は、なんといっても温泉である。開湯から 1,200 年以上の歴史を持ち、皇族や文豪から愛された泉質豊かな「塩原温泉郷」、古くから湯治場として知られる下野の薬湯「板室温泉」を有している。また、那須塩原

6 RESAS 産業構造マップ「農業 農地分析」。

7 RESAS 産業構造マップ「品目別 農業産出額」。

には、国指定・県指定を含め 178 件の指定文化財に加え、近代日本の黎明期を牽引した明治貴族たちの足跡を残す日本遺産など、数多くの文化遺産が存在する。

しかし、現状では、豊富なこれらの観光資源の魅力を十分に発揮しきれていない状況にあるといえる。那須塩原市を訪れる観光客入込数は、2015 年の約 1,000 万人をピークに減少傾向にあり、2019（令和元）年実績では、880 万人である。

観光客宿泊者数も同様に減少傾向にある。令和元（2019）年の観光客宿泊者数は、91.5 万人で前年比 3 万人の減少、平成 22 年（2010 年）の 109 万人から 17.5 万人と大きな減少にある。一方、外国人宿泊者数は、増加傾向にある。令和元（2019）年の外国人宿泊者数は 10,364 人で前年と比較して 422 人の減ではあるが、平成 25（2013）年の 6,373 人からは、

62.6%（3,991 人）の大幅な増加であり、大きな開拓の余地がある。国地域別の訪問者の割合では、市全体としては、台湾（50.0%）、中国（12.5%）、香港（4.7%）、米国（4.6%）で 70%を超えている。

宿泊者の平均宿泊数もまた、2019（令和元）年度は 1.11 泊であり、過去 2 年あるいは全国や県の平均値、日光エリアと比較しても少ない状況にある。

観光客の属性で見ると、那須塩原市の特性が浮き彫りとなってくる。居住地別では、那須塩原エリアの観光客は、日帰り、宿泊共に関東地方（1 都 6 県）と福島県からの来訪者でほぼ 100% に近い割合である。このような特徴は、交通アクセスの利便性と、日帰り観光地として許容できる移動時間の影響が考えられる。宿泊客についてみると、特に県民を始め北関東、福島県居住者の割合が多い。

表 1 那須エリアを訪れる日本人観光客の特性

●日帰り観光客と宿泊者に共通する特性

- ・関東地方（1 都 6 県）と福島県からの来訪者でほぼ 100%である。
- ・栃木県民の割合も、日帰り 65.5%（2019（令和元）年度居住地順位付け 1 位）、宿泊者 11.0%（同 4 位）と高い。
- ・夫婦、家族旅行が多い。
- ・5 回以上の来訪者が多いことから、那須エリアでの観光活動は、非日常的というよりも日常的な活動に近い。

●日帰り観光客の特性

- ・観光客の居住地の約 95%が栃木県、茨城県、福島県で占めている。
- ・男性は、年齢が高くなるにつれ割合が増えているが、女性は全世代からバランスよく来訪している。

●宿泊者の特性

- ・栃木県、茨城県、福島県だけでなく、車で 3 時間圏内の近隣都県（埼玉県、東京都、群馬県、神奈川県、千葉県）からも一定程度来訪している。
- ・2019（令和元）年度の結果をみると、過去一番占有率の高かった 60 代以上の宿泊者の割合が減少し、30 代 40 代が増加しているほか、10 代・20 代女性客も増加傾向が見られる。また、子ども連れの家族旅行とカップル旅行の増加も著しい。

出典：令和 3 年（2121 年）那須塩原市観光マスタープラン 第 2 章

那須エリアを訪れる国内観光客の特性は以下の通りである。滞在時間と宿泊数でみると、那須エリアを訪問した日帰り観光客の2019（令和元）年度の滞在時間は、2時間であり、過去2年と比較して2時間以上も短い結果となって

いる。栃木県全体や観光客宿泊数県内第1位である日光エリアと比較してもかなり短い滞在時間である。

表2にSWOT分析を以下に示す。

表2 SWOT分析による那須塩原市の現状

強み (Strength)	弱み (Weakness)
首都圏からの近接性（首都圏から車で3時間圏内） 高速道路のIC、新幹線駅が存在 個性のある地区で構成されたエリア （地区特性を生かした複数のターゲット設定が可能） 温泉（複数種の泉質と保養湯治の歴史） 自然景勝地、日本遺産（明治期の華族農場、開拓精神） 日本ならではの旅館文化体験が可能 農産品・食材、生乳生産額本州第1位 那須というネームバリュー クリエイティブな事業者集積の兆し 現代版開拓者（革新者）の出現	没個性化（優位性・差別化の弱さ） 延べ宿泊者数及び1人当たりの平均泊数 旅館の平均稼働率、1地点観光（非周遊）、滞在時間の短さ、点在する観光資源 外国人旅行者（宿泊者）数の少なさ まちの活気不足（社会的/経済的/物理的） 観光地としての整備不足（ハード/ソフト） 外部評価の高い食事箇所不足 2次交通の不足 情報の一貫性/統一性/発信不足、連携不足 地域ぐるみで取り組む観光の意識不足 マーケティング上の課題（戦略の欠如、脆弱な観光地経営体制、物理的環境・施設の整備不足、インバウンド対策不足、プロモーション不足、商品・サービスの開発/改良の必要性、人的資源の確保と質の向上）
機会 (Opportunity)	脅威 (Threat)
国際観光客数の増加 ウェルネスツーリズム市場規模の拡大 国の観光振興/インバウンド政策強化 訪日外国人旅行市場規模の拡大 訪日外国人旅行者 地方への移動増加 働き方改革、働き方・暮らし方の意識の変化 技術革新（5G、AI、VR、IoT、ロボット、ビッグデータ） 健康志向、スローな暮らしへの憧れ	社会構造の変化（人口減少、少子超高齢化） 自然災害、気候変動、パンデミック、資産バブル 旅行市場の変化（国内旅行市場の縮小） ターゲット国地域の政治・経済状況の変化 免許取得者の減少 （ドライバー不足、自動車での観光需要が減少する恐れ） 雇用の確保困難

出典：令和3年（2121年）那須塩原市観光マスタープラン 第2章

一方で、那須塩原市は、日本屈指の観光資源を有効に活用して、国内のみならずインバウンドの観光客を対象とした、滞在型・体験型の観光を取入れた「ONSEN・ガストロノミーツーリズム」の推進に積極的に取り組んでいる。観

光地としての革新性、効果的なサステイナブル・ツーリズムを包括した取組みが高く評価され、2021年で7回目となった「世界の持続可能な観光地トップ100選」⁸に他の11市町村と併せて、那須塩原市が選出された。この榮譽

8 Green Destinations Japan (<https://greendestinationsjapan.com/>)。

は、那須塩原の観光を世界に発信し世界からの観光客誘致と市の知名度向上に大きく寄与するものであろう。

(4) 産業別特化係数（2016年）

那須塩原市の主要な産業（農業・林業、製造業、宿泊業）について、従業者一人当たりの生産性を示す産業別特化係数⁹を見てみる。

酪農畜産が盛んな那須塩原市ではあるが、農業・林業の RESAS の表示対象データがないため、割愛する。

中分類の製造業では、全国に比して特化した幾つかの業種がみられる。付加価値の特化係数が高い業種にプラスチック製品製造業（付加価値額の特化係数 5.67、労働生産性の特化係数 1.56、従業者数の特化係数 2.44）、また木材・木製品製造業（付加価値額の特化係数 4.65、労働生産性の特化係数 0.74、従業者数の特化係数 4.17）が挙げられる。

一方、労働生産性の特化係数が高い業種には、電子部品・デバイス・電子回路製造業（付加価値額の特化係数 2.59、労働生産性の特化係数 1.46、従業者数の特化係数 1.19）と情報通信機器器具製造業（付加価値額の特化係数 1.18、労働生産性の特化係数 1.46、従業者数の特化係数 0.54）が挙げられる。

これに対して、宿泊業の付加価値額の特化係数は 2.43、従業者数の特化係数は 2.54、労働生産性の特化係数 0.64 である。この数値は、栃木県下の労働生産性（0.85）よりも更に低く、那須塩原地域の宿泊業における低労働生産性が浮き彫りとなっている。

(5) 製造業

那須塩原市の製造品出荷額は、2018 年に 3,552 億 7,300 万円を記録している¹⁰。この金額は、栃木県下で 10 位、全国では 228 位に相当する。

尚、2008 年からの 10 年間の推移をみると、世界的な金融危機などの外部要因の影響を受けた結果でもあるが、2008 年の 3,878 億 5,600 万円をピークに、漸次減少傾向にある。

(6) 小売・卸売業

那須塩原市の 2016 年の小売・卸売業年間商品販売額は、2,635 億 5,700 万円である¹¹。この金額は、栃木県下で 6 位、全国では 229 位である。1994 年以降の傾向をみると、その後減少傾向にあったが、2012 年の 1,820 億 9,100 万円を底に、急速に回復し増加傾向を示している。

9 特化係数：域内のある産業の比率を全国と同産業の比率と比較したもの。1.0 を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化している産業とされる。労働生産性の場合は、全国の当該産業の数値を 1 としたときの、ある地域の当該産業の数値。

10 RESAS 産業構造マップ「製造業 製造品出荷額等」

11 RESAS 産業構造マップ「小売・卸売業 年間商品販売額」

(7) 企業数・事業所数・従業者数・一人当たり
付加価値額と賃金水準（2016年）¹²

那須塩原市の企業数・事業所数と従業者数は、2009年以降、減少傾向にある。企業数は2009年の4,459社から2016年には3,908社に12.4%と激減している。同様に、事業所数数は、5,798事業所（2009年）から5,401事業所（2016年）と6.9%の減少である。一方、従業員数では、2009年の51,789人から、2016年には49,775人と減少しているが、企業数や事業所数の減少の割合に比べ、4.9%に留まっている。

また2016年の付加価値額（企業単位）は、1,112.31億円であり、これから算定される一人当たり付加価値額は、370.6万円である。これは、栃木県平均の453.7万円の81.7%、また全国平均の544.9万円から比べると68.0%と極めて低い水準である。同様に、2016年の賃金水準は全従業員の平均で263.1万円である。この賃金水準は、栃木県平均338.6万円

の77.7%、また全国平均379.3万円の69.4%とかなり低い水準である¹³。

(8) 高等教育修了者割合（2015年）¹⁴

那須塩原市の高等教育修了者（短大・高専修了者10,021人、大学・大学院修了者11,053人）は、21,074人で、高等教育修了者の割合は、21.5%である。

(9) 女性就業者割合（2015年）

2015年の那須塩原市の総就業者数は、59,869人である。そのうち女性就業者は26,279人で、女性就業者の割合は43.9%である¹⁵。また、65歳以上の総人口は27,944人、うち就業者は7,423人で、高齢者の就業率は26.6%である¹⁶。

女性就業者の割合は全国平均（2015年）の43.8%とほぼ同水準であるが、高齢者の就業率は全国平均（2015年に23.3%¹⁷）よりも3ポイントほど高い。

12 RESAS 産業構造マップ「全産業」

13 総務省統計局「平成28年経済センサス活動調査結果」における「給与総額」と「福利厚生費総額」の合計を「従業者数」（A～R全産業（S公務を除く））で除して算出した数値。

14 総務省統計局「平成22年国勢調査結果」の「産業等基本集計（労働力状態、就業者の産業など）」に掲載されている高等教育修了者（「卒業者 短大・高専」「卒業者 大学・大学院」）を総務省統計局「平成27年国勢調査結果」の18歳以上人口で除した値。

15 総務省統計局「平成27年国勢調査結果」の「就業状態等基本集計（労働力状態、就業者の産業・職業など）」に掲載されている女性就業者数を、同調査に掲載されている総就業者数で除して算出した値。

16 総務省統計局「平成27年度国勢調査結果」における「就業状態等基本集計（労働力状態、就業者の産業・職業など）」中の「労働力状態（8区分）、年齢（5歳階級）、男女別15歳以上人口及び労働力率—都道府県、市区町村」。

17 総務省統計局「統計トピックス No.126 統計からみた我が国の高齢者」2. 高齢者の就業（2015年の高齢就業者数は732万人）と平成27年国勢調査結果（2015年の高齢者人口3145万6491人）に基づいて算定した。

(10) 在留外国人データ

那須塩原市の令和2年(2020年)12月の市内在住外国人は、1,832人である¹⁸。同年の全人口に占める割合は、1.58%で、全国平均の2.3%に比べ、0.8ポイントほど低い水準である。

過去10年ほどの在留外国人の推移をみると、平成27年(2015年)の1,594人を底に、年平均2.8%程度で漸次増加の傾向を示している。

市の公式統計資料、統計「なすしおばら」(令和元年)によると、住民基本台帳制度による市内在住の外国人人口は、2,277人である。国別では、中国が最大の432人(19.0%)、次いでブラジル382人(16.8%)、フィリピン356人(15.6%)、ベトナム258人(11.3%)となっている。実に、この4ヶ国の出身外国人だけで、市内在住外国人の約3分の2弱(62.7%)を占めている。

一方、在留外国人統計によると、2020年末の在留外国人は、2,311人である。その内訳は、技術・人文知識・国際業務243人、技能関係397人、特定活動¹⁹79人、留学28人、企業内転勤18人、永住者862人、特別永住者、58人、特定住者234人、日本人の配偶者等173人、永住者の配偶者24人、家族滞在133人となっている。

(13) 地方自治体の財政状況に関するデータ (2018年度)

那須塩原市の財政状況に関するデータを概観する。財政力指数は104.84(全国平均を100とする)²⁰、実質公債費比率は68.85(全国平均を100とする)、一人当たり地方税は16.9万円²¹、人口1万人当たり職員数77.94(全国平均を100とする)である²²。

3. 研究・開発

研究・開発の面における那須塩原市の概観は、グローバルニッチトップに相当する企業は、存在しないが、フロンティア企業や未来牽引型の企業がある。また特許件数も製造業を主体に多くの特許を有する未来志向の企業があることが分かる。

(1) 留学生受け入れ数

那須塩原市では、市内の中学校とオーストリア・リンツ市にあるEuropagymnasium-Auhof校との相互交流を行っている。毎年春にはオーストリアからの留学生が市内の中学生宅に滞在し、ホストファミリーの中学生と一緒に学校へ通い、日本の生活を体験している。また、秋には市内各校の代表の中学2年生がオー

18 那須塩原市公式HP「人口・世帯数の推移」

<http://www.city.nasushiobara.lg.jp/shisei/d06/k01/index.html>

19 在留資格「特定活動」は「法務大臣が個々の外国人について特に指定する活動」を指す。出入国管理及び難民認定法別表第一の五の表の下欄イ～ニに記載された法定特定活動(特定研究等活動、特定情報処理活動、特定研究等家族滞在活動、特定情報処理家族滞在活動)の他、法務大臣の告示により指定された告示特定活動(2020年3月時点で49種類)がある。参照、法務省出入国在留管理庁「出入国管理法令等」。

20 RESAS 地方財政マップ「自治体財政状況の比較」。

21 RESAS 地方財政マップ「一人当たり地方税」。

22 RESAS 地方財政マップ「自治体財政状況の比較」。

ストリアを訪れ、ホームステイを行っている²³。

(2) SDGs、地方創生・地域開発に取り組む大学

那須塩原市には、私立宇都宮共和大学那須キャンパス、日本大学塩原研修所、早稲田大学那須パルサー観測所の3つの大学関係機関・施設が存在する。

そのなかで、宇都宮共和大学の中核を担うシティライフ学部が、地域振興の観点から、都市の生活・経済・まちづくりに関するセミナーや公開講座を那須キャンパスで行っている。

(3) グローバルニッチトップ企業

(2014年・2020年)

該当なし。

(4) はばたく中小企業・小規模事業者300社

(2017年～2020年)

はばたく中小企業・小規模事業者300社の該当企業はない。しかし栃木県が認定するフロンティア企業には、以下の企業が認定されている。

2018年度：(株)システムデザインワークス

ソフトウェア

2019年度：(株)システムデザインワークス

ソフトウェア

(株)テクノスタット工業

プラスチック製品

2020年度：金子メディックス(株)

金属製品

錦正工業(株)

汎用機械器具

サンプラスチック株式会社

プラスチック製品

また地域未来牽引企業²⁴には、以下の2社が認定されている。

2018年度：サンプラスチック株式会社

製造業

2020年度：株式会社DI・SANWA

CORPORATION

建設業

(5) 特許数(2020年)

那須塩原市の特許数は、製造業を中心に115件を数える²⁵。

(6) 創業比率(2014～2016年)

那須塩原市の創業比率は、5.13%である。この数値は、全国平均の5.04%とほぼ同程度であるが、栃木県の4.47%よりは若干高い水準にある。過去の推移をみると、2004～2006年には、10.02%を記録し、全国平均の5.82%や栃木県の5.11%を大きく凌ぐ起業が起こっている²⁶。

23 那須塩原市ホームページ <http://www.city.nasushiobara.lg.jp/43/008231.html>。

24 経済産業省地域未来牽引企業

https://www.meti.go.jp/policy/sme_chiiki/chiiki_kenin_kigyoushu/index.html

25 RESAS 企業活動マップ「研究開発 特許分布図」。

26 RESAS 企業活動マップ「企業情報 創業比率」。

(7) 表彰（2015～2019年）

那須塩原市では、当該期間中の表彰事例はない²⁷。

4. 文化・交流

(1) 観光地の数・評価

那須塩原市の観光の魅力は温泉である。開湯1,200年以上の歴史を誇る塩原温泉郷には、約60軒の宿に対し、150もの源泉が湧いており、多彩な湯が楽しめることで知られている。渓流の景観を楽しむことができる全長52.5mの紅の吊橋や、無補剛桁歩道吊橋として本州最長を誇るもみじ谷大吊橋などの見どころは、特に紅葉の季節がお勧めである。また大正天皇をはじめ多くの皇族が利用された旧塩原御用邸では、御座所を移築保存した天皇の間記念公園として一般公開されており、貴重な明治時代の建築を見ることができる。

しかし、那須塩原市の歴史的魅力を持つ観光資源と一般観光客の人気度には、大きな乖離がみられる。大手旅行ウェブサイトのトリップアドバイザー²⁸で那須塩原市の「観光スポット」をクリックすると、62件（口コミ数1,888）がヒットする。那須塩原市の多様性があり、豊かな自然景観が上位を占めている。トップは塩原の代表的な滝である竜化の滝（口コミ数81件）、2位が紅の吊橋（口コミ数37件）、そして3位が乙女の滝（口コミ数71件）の順である。一方、口コミ数で見ると、トップは那須ガーデ

ンアウトレット（口コミ数270件、トリップアドバイザー5位）、2位が千本松牧場（口コミ数228件、トリップアドバイザー6位）、そして3位がもみじ谷大吊橋（口コミ数159件、トリップアドバイザー8位）の順である。

(2) 文化財指定件数

那須塩原市には、国の指定する文化財（世界遺産、国宝、特別史跡、特別名勝、重要伝統的建造物群保存地区、重要文化財、登録有形文化財（建造物）、登録記念物、史跡、名勝、重要文化的景観）は、以下の通り、現在8件登録されている²⁹。

- 逆杉
- 高木会館
- 深鉢形土器
- 百村の百堂念仏舞
- 旧青木家那須別邸
- 那須疏水旧取水施設
- 加登屋旅館
- 乃木神社本殿・拝殿

(3) (県・市) 指定文化財件数

那須塩原市には、以下に挙げる9件の県指定の文化財がある³⁰。

- 旧塩原御用邸新御座所
- 絹本著色羅刹天
- 温泉神社石幢
- 大山記念館洋館

27 RESAS 企業活動マップ「企業情報 表彰・補助金採択」。

28 トリップアドバイザー「那須塩原市」の「観光スポット」の件数と口コミの合計数。

29 那須塩原市文化財一覧 <http://www.city.nasushiobara.lg.jp/44/001782.html>

30 那須塩原市文化財一覧 <http://www.city.nasushiobara.lg.jp/44/001782.html>

- 塩原平家獅子舞
- 乃木希典那須野旧宅
- 関谷の城鍬舞
- 上大貫の城鍬舞
- 大黒岩（含化石チャネル堆積物）

那須塩原市は、その他にも有形・無形文化財から絵画、彫刻、史跡、名勝など幅広い分野をカバーする市指定の 161 件もの文化財を保有している。

(4) 天然記念物

那須塩原市には、現在以下に挙げる 26 件の天然記念物が登録されている³¹。

- 永田町の一本杉
- 越堀の大杉
- 妙雲尼塔の大杉
- 嶽山箒根神社の大杉
- 光徳寺門前の杉並木
- 乃木神社の樹林
- 鍋掛のイトヨ
- 北和田のカヤ
- 寺子のエドヒガン
- 宗源寺のエドヒガン
- 前弥六のツバキ
- 下中野のツバキ
- 槻沢小学校の大モミジ
- 大山参道のモミジ並木
- 正観寺のシダレザクラ
- 大山小学校のキガンピ

- 高林小学校のヒイラギ
- 高柳の温泉神社のエノキ
- 本郷町のケンポナシ
- 峯薬師のコウヤマキ
- ノギカワモズク
- 塩原の材木岩
- 大黒岩化石層群
- 旧青木小学校のエドヒガン
- 乃木神社のシダレザクラ
- 法真寺のエドヒガン

(5) 景観まちづくりへの貢献度

該当なし³²。

(6) 美術館数・博物館数

大手旅行ウェブサイトのトリップアドバイザーによると、那須塩原市には、11 件の美術館・博物館がある³³。

- | | |
|---------------|----------|
| ▪ N's Yard | 美術館 |
| ▪ 木の葉化石園 | 自然史博物館 |
| ▪ 塩原もの語り館 | 観光案内所 |
| | 専門美術館 |
| ▪ 板室自然遊学センター | |
| | 自然史博物館 |
| ▪ ジェイゴ セラミックス | |
| | アートギャラリー |
| ▪ 鶏声磯ヶ谷美術館 | 専門美術館 |
| ▪ 那須野が原博物館 | 歴史博物館 |
| ▪ 関谷郷土資料館 | 歴史博物館 |

31 那須塩原市天然記念物 <http://www.city.nasushiobara.lg.jp/bunkasports/d02/k02/kk12/index.html>

32 国土交通省、「都市景観大賞 平成 14 年度『美しいまちなみ優秀賞』」

33 トリップアドバイザー「那須塩原市の美術館・博物館・ミュージアム」

https://www.tripadvisor.jp/Attractions-g1021427-Activities-c49-Nasushiobara_Tochigi_Prefecture_Kanto.html

- 癒しの空間美術館 美術館
- プリオール アートギャラリー
- 銀座オレンジリー アートギャラリー

なかでも、2018 年 3 月に正式オープンした「N's Yard」は、地域を代表する美術館である。



この美術館は、日本の現代美術の第二世代を代表する現代アーティスト・奈良美智さんの個人美術館であり、建築の設計は“KIAS イシダアーキテクトスタジオ”が担当し、外構・園地は東京・GA ヤマザキによる作庭である。

(7) イベントの数・評価

那須塩原市のイベントについての結果は次の通りである。まず、トリップアドバイザー「観光」における「イベント」では、該当はない。一方、「miru-navi 全国観るナビ」記載の「全てのイベント（全国のイベント一覧）」では、以下の 15 件がヒットする³⁴。

- 西那須野ふれあいまつり
- 塩原温泉川崎大師厄除不動尊例大祭
- 竈岩神社祭礼
- 那須波切不動尊火まつり
- 第 44 回塩原温泉湯けむりマラソン大会
- 塩原温泉古式湯まつり
- 【21 年中止】塩原温泉まつり
- 【2021 年開催中止】那須野巻狩まつり

- 塩原温泉ぼたんまつり
- 木ノ俣地藏祭礼
- 峯薬師大祭
- 【2021 年中止】黒磯初市
- 西那須野ふれあいまつり
- 【2020 年中止】那須塩原ハーフマラソン
- 板室温泉神社祭礼



西那須野ふれあいまつり

34 <https://www.nihon-kankou.or.jp/tochigi/list/>

(8) 宿泊施設客室数

那須塩原市商工観光課の統計資料によると、観光関連施設は、合計 87 施設に及ぶ。内訳は、ホテル・旅館が 79 施設で全体の 90% を占め、その他に、民宿・ペンション 4 軒、キャンプ場 4 ヶ所である。収容人数では、ホテル・旅館が 7,685 人であり、一施設当たりの平均収容人数は、92.3 人である。また民宿・ペンションが 98 人、キャンプ場が 808 人である³⁵。

その中でも、代表的な旅行予約ウェブサイトの一つであるじゃらん net によると「ハイクラス」に相当する宿泊施設は、塩原温泉で 4 軒、板室温泉で僅か 3 軒である。また客室数では、塩原温泉で 46 室、板室温泉の 61 室で、計 107 室である³⁶。

那須塩原地域の観光客は、日帰り、宿泊共に関東地方（1 都 6 県）と福島県からの来訪者が殆どではば 100% に近いと報告されている³⁷。現状は、この現在の観光需要に見合う観光宿泊施設の提供であるといえるが、一方で日本屈指の観光資源を必ずしも有効に活用しているとは言い難い。将来にわたり、他の観光地との差別化を図り、国内外の観光客を対象とした、滞在型・体験型の観光を取入れた「ONSEN・ガストロノミーツーリズム」の推進に積極的に取り組むためには、高級型の宿泊施設の拡充が欠かせないのではないだろうか。

(9) 観光案内所・病院の多言語対応

海外からのインバウンドの観光客を積極的に受け入れるには、宿泊施設の整備・拡充に加えて、多言語対応の観光案内所を設けることと併せて、多言語対応の病院の整備が必要不可欠である。

那須塩原市の多言語対応の観光案内所は、JR 那須塩原駅構内にある「那須地区総合案内所」の 1 箇所のみである。この総合観光案内所は、パートタイムで英語対応が可能なスタッフがいる、または、電話通訳サービス等により英語対応でき、地域内の観光や交通の情報提供ができるカテゴリー 1 の観光案内所である³⁸。

同市には、現在のところ、英語で対応できるスタッフが常駐し、広域の観光や交通の情報提供ができるカテゴリー 2 の観光案内所、更に英語を含む 3 言語以上での対応（英語はスタッフが常駐）ができ、全国の観光や交通の情報提供ができる「カテゴリー 3」の観光案内所は設置されていない。

一方、外国人観光客や在留外国人の具合が悪くなった場合の対応として、日本政府観光局（JNTO）の公式ホームページによると、那須塩原市には、以下に挙げる多言語対応の 5 つの病院があり、外国人観光客の病気や疾病に臨機応変に対応できる体制にあるとされている³⁹。

35 統計なすしおばら 令和元年（2019）年版。

36 じゃらん net「那須塩原市」の「ハイクラス」宿泊施設の客室数の合計。

37 令和 3 年（2121 年）那須塩原市観光マスタープラン 第 2 章。

38 日本政府観光局「JNTO 認定外国人観光案内所」一覧。

<https://www.jnto.go.jp/jpn/projects/visitor_support/list.html>

39 日本政府観光局「日本を安心して旅していただくために 具合が悪くなったとき」

https://www.jnto.go.jp/emergency/jpn/mi_guide.html

- 国際医療福祉大学病院 英語
- 社会医療法人博愛会菅間記念病院
- 栃木県医師会塩原温泉病院
- 医療法人 順整会 福島整形外科病院
- せきぐち歯科医院

しかし、質問表に対する市による回答では、医療機関の多言語対応は実施していないとの報告である。現在、コロナ禍といった特異な状況ではあるが、多言語対応、特に少なくとも英語による対応の整備が必要であろう。

(10) 休日の人の多さ

観光分析の一つとして、那須塩原市の休日の滞在人口率をみると、次の通りである。2019年の休日午後2時の各月の滞在人口の平均を国勢調査人口で除した数値は、1.08 となっている⁴⁰。即ち、休日には、総人口の8%の人が、

那須塩原市を訪れたことをしめしている。

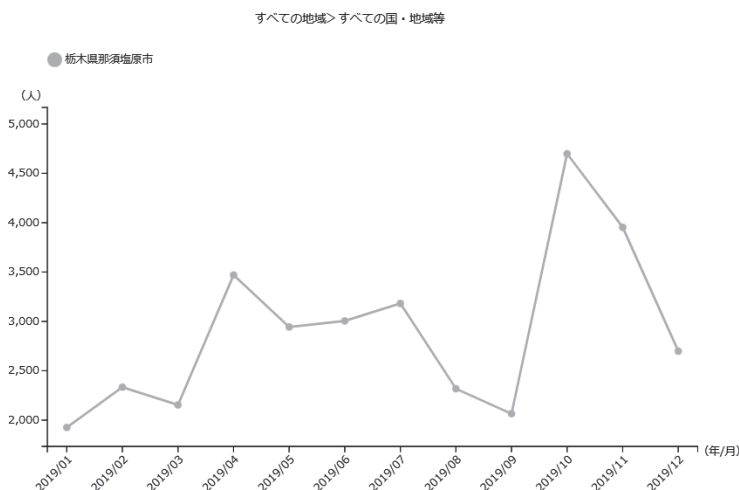
(11) 行楽・観光目的の訪問の多さ

那須塩原市を訪問した人のうち、2020年の行楽・観光目的の訪問者の割合は11.3%で、全国平均4.9%の倍を超える数値である。以下は、「食・グルメに参加するため」2.0%、「スポーツイベントに参加するため」1.9%、「ビジネス（出張等）のため」1.8%、「親戚・家族・友人の訪問のため」1.8%、「芸術イベントに参加するため」1.6%と続く⁴¹。

(12) 訪日外国旅行者訪問数（2019年）

那須塩原市の昼間（10-18時）の滞在者数の月平均は、2,896人である⁴²。図7に訪日外国旅行者訪問数の月別の推移を示す（2019年）。多くの訪問客は、紅葉がピークを迎える

図7 那須塩原市の訪日外国旅行者訪問数の推移（2019年） 昼間（10－18時）



出典：RESAS観光マップ「外国人滞在分析 地域別滞在者数の推移（2019年）昼間（10-18時）」

40 RESAS まちづくりマップ「滞在人口率」。

41 株式会社ブランド総合研究所「地域ブランド調査 2020」における「訪問経験 Q9（行楽・観光のため）」の値（%）。

42 RESAS 観光マップ「外国人滞在分析」。

10月(4,698人)－11月(3,953人)に集中している。また、4月から7月の新緑の季節にも3,000人から3,500人ほどの外国人旅行者が、同市を訪れている。

(13) 訪日外国人旅行者宿泊数

那須塩原市の夜間(2-5時)の滞在者数の月平均は、2,287.1人である⁴³。これは那須塩原市を訪問する訪日外国人旅行者の約8割に相

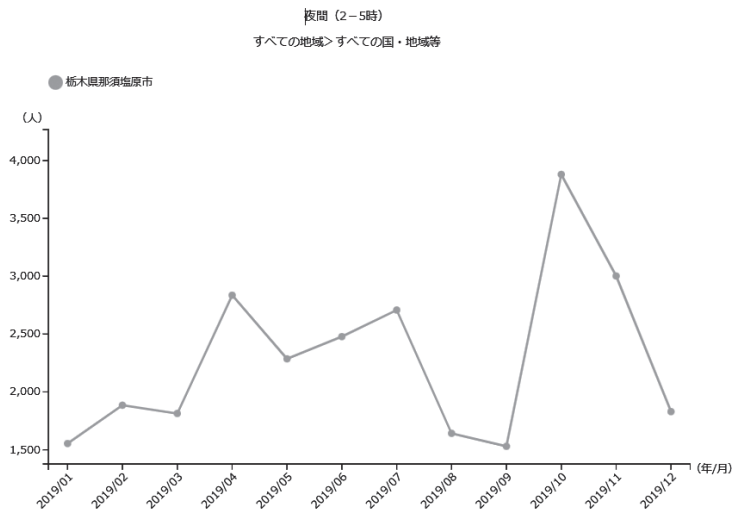
当する観光客は、宿泊日数は別として、同市に滞在することを意味している。

外国人宿泊者の月別推移をみると、訪日外国旅行者訪問の推移と同様の傾向を示している。即ち、紅葉の季節に合わせ、紅葉を満喫しながら滞在するパターンである。

(14) 国際会議開催件数

那須塩原市の2010-2019年の10年間にお

図8 那須塩原市の訪日外国旅行者訪問数の推移(2019年) 夜間(2-5時)



出典：RESAS観光マップ「外国人滞在分析 地域別滞在者数の推移(2019年) 夜間(2-5時)」

ける国際会議開催は、0件であり、国際会議などの開催誘致は、今後の課題でもある⁴⁴。

(15) 観光客誘致活動

那須塩原市には、いわゆる観光地域づくり法

人DMO(destination management organization)⁴⁵として、二つの機関が存在する。一つは、関東広域(1都10県)における魅力ある観光地づくりと訪日観光客の関東広域への誘客を推進し、観光産業の振興と経済の発展に寄

43 RESAS観光マップ「外国人滞在分析」。

44 日本政府観光局「2019年国際会議統計 資料編1 国内都市別 国際会議開催件数一覧表」。

45 日本政府観光庁「観光地域づくり法人(DMO) 登録一覧」。

与することを目的に、2018年に設立された広域連携（一社）関東観光広域連携事業推進協議である。

もう一つは、栃木県における観光及び県産業製品の振興に関する事業を行い、公共の福祉の増進と地域経済の活性化に寄与することを目的に、昭和38年に設立された地域連携（公社）栃木県観光物産協会である⁴⁶。この協会の下、栃木県は5つの地域に分けられ、那須塩原市は、那須エリアに属する。

（16）自治体SNSフォロワー数

那須塩原市のSNS発信状況は、次の通りである。Facebookのフォロワー数1,881人、Twitterのフォロワー数は、4,471人、またYoutubeのチャンネル登録者は、2,370人を超える。

（17）魅力度・認知度・観光意欲度

「地域ブランド調査2020」における那須塩原市の魅力度・認知度・観光意欲度の合計は76.4点である。

魅力度は18.7点（前年17.6点）で全国順位は119位である。認知度は30.9点（前年29.0点）で全国順位は249位である。観光意欲度は26.8点（前年27.5点）で、全国平均の18.9点を大きく上回っている⁴⁷。

イメージ要素としてみた場合、那須塩原市は、観光・レジャーのまちとしての評価が35.5%であり、全国平均の12.3%を20ポイント以上、上回っている。また地域資源に対する評価でみると、「海・山・川・湖などの自然が豊か」29.3%（全国平均15.0%）、「魅力的な温泉やレジャー施設・公園などがある」21.4%（全国平均6.1%）の2項目で、全国平均を大きく上回っている⁴⁸。

地域資源評価を総合した資源の偏差値では、特に自然資源が68.7と全国平均（偏差値50.0）を大きく上回っている。また、モノ資源についても56.5で、全国平均を上回っている。サービス資源に関しては、49.7で、ほぼ全国平均値に相当する。一方で、豊富な歴史的資源があるにも関わらず、歴史資源の偏差値は46.9と全国平均より低い⁴⁹。

（18）日本人大学生の海外留学・海外派遣数

那須塩原市には、私立宇都宮共和大学那須キャンパス、日本大学塩原研修所、早稲田大学那須パルサー観測所の3つの大学関係機関・施設が存在する。しかし、近年この3大学機関からの海外留学や海外派遣についての報告はない。

46 <https://www.tochigiji.or.jp/>

47 「地域ブランド調査2020」(前掲注46)における「魅力度」、「認知度」、「観光意欲度」の3つの点数を合算した値。

48 参照、「地域ブランド調査2020」(前掲注46)における「市町村の地域資源に対する評価(Q7)」。

49 参照、「地域ブランド調査2020」(前掲注46)における「地域資源評価」。

(19) 姉妹都市提携数

那須塩原市は、以下の通り、国内3都市、また海外の都市とも姉妹提携都市として提携を結んでいる⁵⁰。

- 茨城県ひたちなか市
- 富山県滑川市
- 埼玉県新座市
- オーストリア リンツ市

特に、グローバルデザインの観点から、リンツ市について、概況について簡単に紹介する。リンツ市は、オーストリアのオーバーエスターライヒ州の州都でドナウ川沿いに位置し、人口は約20万人ほどの商工業都市である。歴史的建造物が多く、芸術・文化活動の盛んな街として知られている。平成21年（2009年）度にはオーストリアでは2番目の欧州文化首都に選定されている。

リンツ市との繋がりには、明治時代の那須塩原地域の開拓の歴史に遡る。明治貴族の一人、青木周蔵氏の子孫であるニクラス・サルム伯爵が青木小学校創立100周年記念に来市したことが契機となっている。平成17年度から、ニクラス氏が在住するリンツ市を派遣先として、中学生海外派遣が始まり、その後、両市の相互交流を目的に様々な交流が行われ、今日に至っている。

(20) 姉妹都市への青少年海外派遣事業を通じた派遣数

那須塩原市では、市内中学校とオーストリア・リンツ市にあるEuropagymnasium Auhof校との間で相互交流を行っている。直近では、2019年の年末にかけ、約1ヶ月間にわたり、536名の中学生を派遣している⁵¹。

また、那須塩原市では、リンツ市との国際交流を促進する目的で、オーストリア出身の国際交流員1名が勤務している⁵²。

(21) 高等学校による海外派遣事業を通じた派遣数 特段の報告なし。

(22) その他の枠組みによる 青少年の海外派遣数 特段の報告なし。

5. 生活・居住

(1) 外国人住民の受入れ体制

平成27年国勢調査人口等基本集計結果によると、那須塩原市の人口は117,146人、そのうち外国人は、1,597人で、外国人住民比率（2015年）は、1.4%である。この外国人住民に対して、那須塩原市は、どのような行政サービスを提供しているのだろうか。

市への質問票に対する回答を纏めると以下の通りである。

50 那須塩原市「姉妹友好都市」<http://www.city.nasushiobara.lg.jp/03/000940.html>

51 那須塩原市 <http://www.city.nasushiobara.lg.jp/43/7930.html>

52 那須塩原市 <http://www.city.nasushiobara.lg.jp/03/006273.html>

<生活全般>

①多言語による情報提供：実施している

◇市ホームページ（翻訳機能）【対応言語：日本語、英語、ポルトガル語、スペイン語、韓国語、中国語（繁体字・簡体字）、ドイツ語、ベトナム語】

◇観光パンフレット【対応言語：英語、中国（繁体・簡体）、韓国語、ドイツ語】

◇観光アプリ「ココシル」【対応言語：英語、フランス語、韓国語、中国語（繁体・簡体）】

②外国人住民向け生活相談：実施している

◇西那須野支所において相談窓口を開設

・毎週金曜日 午前9時～午後4時

・外国人生活相談員1名【対応言語：日本語・英語・ポルトガル語・スペイン語】

③外国人住民向け就労支援・労務相談：実施している

◇西那須野支所において相談窓口を開設

・第4金曜日 午前9時～正午

・栃木県行政書士会那須支部による相談会

・外国人生活相談員1名【対応言語：日本語・英語・ポルトガル語・スペイン語】

<教育>

①外国にルーツをもつ子どもの就学・

教育支援：実施している

◇市内小学校3校に日本語指導教室を設置

・この3校を拠点に該当する児童生徒に対して支援を行っている。

・本市独自の取組として、日本語支援員4名（業務内容：日本語指導等）及び外国人児童生徒教育相談員（業務内容：通訳及び翻訳等）1名の配置を行っている。

②外国人住民向け日本語教育：実施している

◇市国際交流協会（事務局秘書課）が実施、

・11月から月3回（計12回）の日本語教室を開催している。

・講師が減少したためコロナ前に日本語教室に参加していた外国人を対象に実施

③外国人住民向け日本文化・習慣紹介：

実施している

◇市国際交流協会（事務局秘書課）で実施している。

・ただし、現在はコロナの影響で実施していない。

<医療>

①多言語対応の医療機関に関する情報提供：実施している

◇外国人生活ガイドブックに掲載

◇市ホームページ（標示言語を選択することによる情報提供）

②医療機関の多言語対応（多言語問診票／通訳・ボランティア等）：実施していない

③健康診断・健康相談：実施していない

◇多言語の母子手帳の交付【対応言語：英語、ポルトガル語、中国語、スペイン語、ベトナム語、タガログ語、タイ語、ハングル語】

<防災>

①多言語での災害情報提供：実施している

◇市ホームページ（標示言語を選択することによる情報提供）

②多言語での防災訓練：実施している

◇2021年6月5日に県国際交流協会主催事業に市が共催で実施した。

③緊急事の所在の把握：実施していない

<啓発>

- ①外国人住民に対する地域活動への参加促進：実施していない
- ②日本人住民に対する異文化理解／多文化共生教育：実施している
 - ◇国際交流員による海外姉妹都市オーストラリア文化紹介、講座、YouTube 動画配信
- ③人材育成（多文化共生・外国人関係部局の職員・相談員に対する研修・研究会等）：実施している
 - ◇各種研修会を受講

(2) 外国人の住民投票権

那須塩原市では、外国人に住民投票権を認めていない⁵³。

(3) 小売事業所密度

生活し居住する場所として那須塩原市を見ると、暮らしやすさを示すいくつかの指標が挙げられる。まず、小売事業所の総数は 991 事業所（2016 年）である。その内訳は、「機械器具・その他の小売業」が、491 事業所、「飲食料品小売業」が 254 事業所、「織物・衣服・身の回り品小売業」が 181 事業所、「その他の無店舗小売業」が 60 事業所である⁵⁴。

小売事業所総数を人口で除した人口 1 万人当たり事業所数は 84.6 であり、生活に密着した小売事業が多いことが分かる。

1994 年以降の事業所数の推移をみると、小

売業ほぼ全ての中分類で、2012 年までは減少傾向にある。2012 年を底に、「機械器具・その他の小売業」がその後に微増している一方、それ以外の小売事業所数は、横ばい傾向を示している。

(4) 飲食料品小売店舗密度

那須塩原市の飲食料品小売店舗は、次の通りである。各種食料品小売業が 35 店舗、野菜・果実小売業が 16 店舗、食肉小売業が 13 店舗、酒小売業が 23 店舗、菓子・パン小売業が 82 店舗、その他の飲食料品小売業が 119 店舗である⁵⁵。

人口 1 万人当たりの飲食店数は 25.3 である。

(5) コンビニ密度

最後に、那須塩原市のコンビニエンスストアの店舗数を見ると、全部で 61 店舗である。JR 駅沿線や市街地区に広く点在している。人口 1 万人当たりのコンビニ数は 5.2 店舗である⁵⁶。

6. 交通・アクセス

(1) 公共交通の利便性

那須塩原市の公共交通は、J R 東北新幹線の停車駅である那須塩原駅が那須地域の玄関口として中心的な役割を果たしており、その前後にある J R 宇都宮線の西那須野駅と黒磯駅を含めた鉄道 3 駅が市民や観光客等の移動手段として広く利用されている。

53 ウィキペディア「住民投票条例 投票資格の範囲」。

54 RESAS 産業構造マップ「小売・卸売業 商業の構造」。

55 統計 なすしおばら 令和元年版。

56 i タウンページ「コンビニエンスストア 那須塩原市」での検索結果。

市では、平成 30 年 3 月に「那須塩原市地域公共交通網形成計画」を策定し、計画に基づく持続可能な公共交通網の構築を実現するため、

図9 那須塩原市内の公共交通マップ



(2) 空港アクセス時間の短さ

那須塩原市の空港アクセスは、決して良いとは言えない。国内の空港としては、羽田空港と茨城空港の2つがある。自動車を利用する場合、羽田空港から那須塩原市までは、東北自動車道を経由して、約2時間半の時間を要する。また茨城空港からは、北関東自動車道を経由して、2時間10分程度である⁵⁸。

一方、海外からのアクセスとしては、成田国際空港並びに羽田空港がある。自動車を利用する場合、成田国際空港から那須塩原市までは、北関東自動車道を経由して、約2時間10分程度である。

(3) 新幹線の利用しやすさ

那須塩原市には、1982年に開業した東北新幹線の「那須塩原駅」があるため、新幹線のアクセスは抜群である。2020年度は、コロナ禍の影響があり、那須塩原駅の1日当たりの利用客は、1,819人であるが、例年は3,300人ほどの人が利用している。

東京駅—那須塩原駅間は、約1時間10分程度の所要時間である。また、1日当りの運行本数は、上りの新幹線が26本、下りが27本と頻繁に運転している⁵⁹。

(4) インターチェンジ数

那須塩原市には、東北自動車道の黒磯板室ICと西那須野塩原ICの2つのインターチェンジがある。都内から那須塩原市までは、東北自動車道の渋滞状況にも依るが、空いている道路状況の場合、約2時間20分程度である⁶⁰。

(5) 通勤時間の短さ（2018年）

該当データなし⁶¹。

58 Google Map ルート検索による。

59 JR 東日本。

60 Google Map ルート検索による。

61 総務省「平成30年住宅・土地統計調査」における家計を主に支えるものの通勤時間の中位数。

Glocal Profiling: Nasushiobara City

Masakazu Watanuki, Ph.D.
Japan Global Initiative President

Abstract

Nasushiobara City is located approximately 150 kilometers from the Tokyo metropolitan area and about 50 kilometers North from Utsunomiya City. The city area is located in the northern part of Tochigi Prefecture, and occupies the northwestern part of the vast *Nasunogahara* plateau. The city has the area of 592.74km², and its population is registered at 115,511 in 2021.

The best charm of *Nasushiobara* city is, no doubt, the hot springs. With a history of more than 1,200 years, the city is endowed with “hot spring (Onsen) resort” in high quality, which has been beloved by the imperial families and many literary masters in the era of modern Japan. It has also “*Itamuro Onsen*”, a medicinal bath spot in Shimotsuke (old name of Tochigi Prefecture).

In addition, *Nasunogahara* plateau, which traces the footsteps of Japan’s modernization, was certified in 2018 as one of the Japanese heritage sites, “The future envisioned by aristocrats in Meiji era: the tale of pioneering *Nasunogahara* plateau”. By taking advantage of the effective use of these tourism resources, the city plans to promote “ONSEN-gastronomy tourism” that incorporates stay & experience-based tourism concept targeting domestic as well as inbound tourists.